

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

（平成 2 1 年度）

平成 2 2 年 1 0 月

名古屋市市民経済局

目 次

1. 観光統計について	1
(1) 全国観光統計基準の採用	1
(2) 入込客数	1
(3) 観光消費額	4
2. 調査の集計結果	6
2-1 観光客の現状	6
(1) 調査の概要	6
(2) 調査結果	8
2-2 宿泊客の現状	34
(1) 調査の概要	34
(2) 調査結果	35
2-3 宿泊施設調査	58
(1) 調査の概要	58
(2) 宿泊施設の現状	59
(3) 宿泊客数	61
3. 資料編	71
(1) 主要観光施設への入込動向	71
(2) 名古屋のまちの印象	75

巻末 調査票

注1：本文中で用いたテレビ塔、パノラマハウス、ブルーボネット、イタリア村、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、JR セントラルタワーズパノラマハウス、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、名古屋港イタリア村、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。

注2：表、グラフに記してある居住地別のなどの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

1. 観光統計について

(1) 全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成 17 年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。

平成 21 年度については、全国観光統計基準に適合する 84 地点の観光入込客数を把握した。

(2) 入込客数

①観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成 21 年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約 5,460 万人であり、平成 20 年度と比較して 213 万人増加（対前年度比率 104.1%）した。

主な増加の理由は、調査対象観光地点数の増加や、シルバーウィークが大型連休となったこと、名古屋城、熱田神宮などの周年記念事業、美術館などの特別展・企画展が好評だったことなどである。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(25) 19,246,422	(25) 21,075,363	(25) 20,510,622	(25) 21,251,645
	産業観光	(7) 2,003,055	(6) 1,917,028	(5) 1,615,170	(5) 1,499,021
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(17) 12,955,647	(17) 12,300,363	(18) 11,231,946	(16) 11,992,827
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(14) 7,428,814	(14) 7,880,964	(15) 7,772,812	(15) 7,929,956
	イベント	(22) 11,538,634	(22) 12,996,629	(19) 11,345,439	(23) 11,931,312
計		(85) 53,172,572	(84) 56,170,347	(82) 52,475,989	(84) 54,604,761

注：調査した観光地点数は、年度によって変動します。

◆調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

②観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 21 年度の観光入込客実人数は 3,289 万人であり、平成 20 年度と比較して 89 万人増加（対前年度比率 102.8%）した。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
観光入込客延べ人数（人）	53,172,572	56,170,347	52,475,989	54,604,761
平均訪問観光地点数	1.73	1.70	1.64	1.66
観光入込客実人数（万人）	3,074 万人	3,304 万人	3,200 万人	3,289 万人

③居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	38.6%	61.4%
観光入込客実人数	3,289 万人	1,270 万人	2,019 万人

④宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推定した。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
延べ宿泊客数（人）	6,288,947	6,384,202	6,238,020	5,786,316
宿泊客実人数（人）	4,752,837	4,845,349	4,719,502	4,604,248
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.32	1.32	1.32	1.26

⑤居住地別宿泊客実人数の推計

宿泊客の現状調査の回答により、宿泊客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	6.4%	93.6%
宿泊客実人数	460 万人	29 万人	431 万人

⑥居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推定した。

観光入込客実人数を居住地別にみると、平成 21 年度の名古屋市内客は 1,270 万人であり、平成 20 年度と比較して 128 万人増加した。一方、名古屋市外客は 2,019 万人であり、平成 20 年度と比較して 39 万人減少した。

また、平成 21 年度の宿泊客実人数は 460 万人であり、平成 20 年度と比較して 12 万人減少した。一方、平成 21 年度の日帰り客実人数は 2,829 万人であり、平成 20 年度と比較して 101 万人増加した。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

		平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
観光入込客実人数	計	3,074 万人	3,304 万人	3,200 万人	3,289 万人
	名古屋市内客	1,030 万人	1,242 万人	1,142 万人	1,270 万人
	名古屋市外客	2,044 万人	2,062 万人	2,058 万人	2,019 万人
宿泊客実人数	計	475 万人	485 万人	472 万人	460 万人
	名古屋市内客	27 万人	38 万人	36 万人	29 万人
	名古屋市外客	448 万人	447 万人	436 万人	431 万人
日帰り客実人数	計	2,599 万人	2,819 万人	2,728 万人	2,829 万人
	名古屋市内客	1,003 万人	1,204 万人	1,106 万人	1,241 万人
	名古屋市外客	1,596 万人	1,615 万人	1,622 万人	1,588 万人

(3) 観光消費額

①観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、観光総消費額を推計した。平成 21 年度の名古屋市内の観光総消費額は 2,495 億円であり、平成 20 年度と比較して 16 億円減少している。

宿泊客の総消費額は 990 億円であり、平成 20 年度と比較して 20 億円増加している。

日帰り客の総消費額について居住地別にみると、平成 20 年度と比較すると、名古屋市内は横ばい、名古屋市外は 37 億円減少している。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成 20 年度	平成 21 年度
宿泊客実人数		472 万人	460 万人
日帰り客実人数	名古屋市内客	1,106 万人	1,241 万人
	名古屋市外客	1,622 万人	1,588 万人
宿泊客一人あたり消費額		20,559 円	21,518 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内客	4,012 円	3,585 円
	名古屋市外客	6,761 円	6,676 円
宿泊客総消費額		970 億円	990 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内客	444 億円	445 億円
	名古屋市外客	1,097 億円	1,060 億円
名古屋市内観光総消費額		2,511 億円	2,495 億円

②観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。

その他消費額は、総消費額から各項目別の消費額を差し引いた金額である。

食事費、交通費、宿泊費などは平成 20 年度に比べ、それぞれ 20～30 億円程度減少しているものの、土産代は 85 億円増加している。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 20 年度	平成 21 年度
食事費消費額	791 億円	774 億円
交通費消費額	332 億円	300 億円
土産費消費額	486 億円	571 億円
宿泊費消費額	487 億円	455 億円
その他消費額	415 億円	395 億円
総消費額	2,511 億円	2,495 億円

表 1-2-3 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		名古屋市内客	名古屋市外客
食事費	6,914 円	1,274 円	1,879 円
交通費	1,840 円	424 円	1,023 円
土産費	4,907 円	598 円	1,705 円
宿泊費	9,883 円		

表 1-2-4 旅行費用項目別総消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		名古屋市内客	名古屋市外客	
食事費総消費額	318 億円	158 億円	298 億円	774 億円
交通費総消費額	85 億円	53 億円	162 億円	300 億円
土産費総消費額	226 億円	74 億円	271 億円	571 億円
宿泊費総消費額	455 億円			455 億円